
君と繋がる

桜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

君と繋がる

【コード】

N5208P

【作者名】

桜

【あらすじ】

僕は君が好きだ。最初は君なんかどうでもよかった。気になり始めたのは、君と繋がりはじめたから。

(前書き)

短編二作目です。

テーマは「おとなしい子」「繋がる」です。

微妙な関係で

おわってますが……。

今度は「別れ」をテーマにしたいです。

僕の好きな子は隣の席の女の子。

見た目は、可愛い。長い綺麗な髪に、少し大きめな目。

最初は、元気な女の子かな、って思ってたんだ。でも、君はおとなしく、涙脆いから。

真面目な性格で、制服もばっちり着てるし。シャツはださな
い、スカートはまかない……君は、先生のお気に入りで。

でも、生徒は君のことを嫌っている。

おとなしいから目を付けたんだろう。

僕は、君のことはどうでもいいと思ってたんだ。

でも、君と隣席になってから……君を気にしてた。

誰かから、嫌がらせされてないかな、とか、今日も元気ないな、
とか……。

隣席だから気になってるだけだ！、と自分を誤魔化していたんだ。

君のことが好き、と認めなくなかったんだ。

だけど、君が休んだり、泣いたりしたらすごく心配になる。

他の男子と楽しそうに喋っていると、嫉妬する。僕のと

きは、あんな楽しそうな表情かおしなくせに……。

まあ、君はおとなしいからめつたに男子と喋らないから……そこ
はいい。

僕は今、授業中だけど寝たふりをする。

そして、隣に座っている君をみる。真剣に、ノートに黒板に

書かれたことを写していた。必死に、必死に……。

僕は起き上がり、黒板に書かれていることをノートに写す。

君が一生懸命な姿を見ると、僕も頑張らないとって思われる。

でも、もうすぐ席替え。君と離れ離れになるかもしれない。

はあ、僕は、どうしてこんなに君に惚れたんだろう。

いつの間にか、君が気になって仕方なかった。僕以外の、男を

見ないでほしい。

君に、振り向いてほしい。

地獄の席替えが始まった。

僕の席は、一番後ろだ。

ガタガタと机を動かして、隣は誰

なのかなあ、と隣がくるまでまつ。

まっつていると、隣の女の子がいた。

見ると、驚いた。

だって、君がいたんだ。

「隣席……。よろしくね……。？」

小さく、不安そうに君が僕を見る。

……。可愛い！なんでこんなに可愛いんだよー！！

「そんな不安そうな声だすなって！笑ってくれよ！また隣席になれたんだからさ！」

「う、うん？」

僕のハイテンションについてこれないようで戸惑いの表情をみせる君。

これが、僕の隣の女の子。

また、隣席なんだね。

次の席替えはまだまだだから、長く君といれるんだ。

ねえ、君は嬉しい？ 僕となれて迷惑じゃない？

僕は嬉しい。 君とずっと一緒にいたいと思う。

君は、僕のことを想ってくれてないと思う。

だけど僕は君を想っている。 言葉にならないほど、君に

惹かれてる。

君と繋がるには、条件がある。

それは、君と隣席だということ。

君と喋るのは、なんだか恥ずかしくてできないし。

だから君と近い隣席が繋がる道。

隣席だから気付くことだってある。

ペンの持ち方、どこをみてるのか、恥ずかしがってるところとかさ。他の奴に気付いてほしくないし。僕だけが、気付いて

君を独り占めできたらいいのに……。

でもいいや。

君と繋がってるから。

隣席になる……それは君と繋がる証。

君と繋がる隣席

(後書き)

隣席は初めてのテーマなんです。

相手の女の子はおとなしい子にしましたが、お淑やか(？)な子
っていいですよ？

今度は男勝りにしようか……、上品にしようか……迷います！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5208p/>

君と繋がる

2010年12月16日20時51分発行